



冬の読書旬間 12月8日～17日

冬の読書旬間がありました。期間中は1日1回3冊貸し出し、毎朝の全校読書、お話の会、お話献立、図書委員による読み聞かせなど楽しい企画が盛りだくさんでした。

図書集会で『ひつつきもつつき』(中川ひろたか/文)の読み聞かせや遊び歌の紹介などがありました。



読み聞かせボランティアの皆さんによる「お話の会」では、低学年高学年に分かれて、それぞれ絵本や紙芝居などを聞きました。中でも大型紙芝居は、何人もの皆さんが役割分担をして読み聞かせてくださり、お話の中に引き込まれてしまいました。

図書館の時間に、1・6年、2・5年、3・4年のなかよし学級で、下の学年に読み聞かせをしたり、本を見ながら一緒に工作をしたりして、楽しみました。1・6年生は『ぶんぶんごまがまわったら』(宮川ひろ/作)の読み聞かせの後、ぶんぶんごま作りに挑戦。低学年に難しいところは高学年がやさしく教えてくれました。3・4年生は事前に本から問題を考えたり、クイズの本から選んだりして問題を出題。更に読み聞かせや図書館で本さがしゲームも行い楽しい時間となりました。

先生方による「お話の部屋」は、お部屋に行くまでどの先生が読んでくれるのか秘密になっています。いつもと違う先生に読んでもらうと、また違う感じがしますね。



3学期スタート 1月8日 3学期始業式

3学期がスタートしました。2年生、5年生の代表児童が、3学期の目標を発表しました。

九九を完璧に覚えたい、けがをしないように体育の時間をたのしみたい、とめ・はね・はらいを意識して丁寧に漢字を書く、6年生が作り上げてきた児童会をしっかりと引き継ぎたい、漢字テストで百点を取れるように漢字練習を頑張りたいなど、それぞれの決意を発表しました。

校長先生からは、3学期には「今年のまとめ」と「新しい学年への準備」の二つの意味があります。みんなが笑顔でなかよく元気に過ごせるようにするために大切なことはなんでしょう？という問いかけから始まり、もっと「楽しい学校」を自分たちで作ろうという内容のお話がありました。

自分たちで考え、工夫して、もっと楽しい学校を作っていけたらいいですね。

